



みなさんこんにちは！社会教育士の「S」です。今回は4月から遊水地管理棟館長に就任された東さんに取材しました。東さんは、中学校教諭（理科・技術）として長年勤務され、令和8年3月までは滝川市こども科学館の指導員として活躍していました。新館長としての思いや、オアシスパークへの考えについて語っていただきました。



●館長に就任されての印象や、オアシスパークへの率直な感想をお聞かせください。



実際に来てみて一番感じたのは、本当に多くの方々がここを中心に活動・活躍されているということです。観光客の方も多くいらして、オアシスパークが砂川市にとってものすごく大きなウエイトを持っていることを知ることができました。

●この場所をどんな場所にしていきたいですか？



一言で言えば、「憩いの場」です。市民や観光客が気軽に訪れ、釣りや散歩など自然に触れながら、遊水地の役割や歴史も学べる場所であってほしいと思います。スマホやゲームで過ごす時間も多ですが、それを否定するのではなく、自然の中でぼーっとしたり、釣りや散歩をしたりする時間を通して、人間本来の感性を育ててほしいと感じています。

●学校や地域との連携についてはどのようにお考えですか？



以前より学校からの釣り体験や川の働きを学ぶ依頼があり、継続していきたいと思っています。職員だけでは対応しきれないイベントや体験活動も、地域の方に手伝っていただきながら運営してきた歴史があります。地域を巻き込んでこそ達成できることがある。それがこの素晴らしさだと感じています。これからもその連携を大切にしていきたいです。

●おすすめのスポットや時間帯があれば教えてください。



特に夕方は夕日が美しく、赤く染まる空と遊水地の水面、山々の緑、雪の白さが織りなす景色を楽しむことができます。ぜひ、オアシスパークならではの自然の風景を感じていただきたいです。



●砂川市民の皆さんへメッセージをお願いします！

自然溢れるこの遊水地に、ぜひ気軽に足を伸ばしてみてください。年間を通じてさまざまなイベントもあります。外の景色だけでなく、ぜひ館内の展示にも立ち寄っていただくと、この遊水地がなぜここにあるのか、どんな歴史があるのかが見えてきます。

